

TOENEC Report Vol.1

お客さまや社会の皆さまから「選ばれ続ける企業」
すべての従業員が「いきいきと活躍できる企業」を目指して。

当社が持続的に成長・発展し、お客さまや社会の皆さまから選ばれる企業になるためには、当社の原動力である「従業員」がいきいきと活躍できる魅力ある企業になることが重要であると考えています。また、多様化・個別化するお客さまニーズにお応えするとともに、変化する事業環境をチャンスと捉え対応することも必要です。

このため、個々の従業員が持つ多様な違い(性別・年齢・価値観等)をお互いが尊重し受け入れ、「新たな発想力」や「柔軟な対応力」を生み出すべく、ダイバーシティを推進しています。



株式会社 トーエネック
代表取締役 社長

久米雄二

Our policy

多様な人材活躍推進のための実施方針

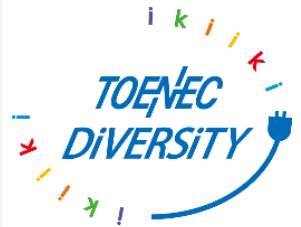
目的

『多様な人材』がいきいきと活躍できる魅力ある企業を創造する

目標

1. いきいきと働ける企業風土の醸成
それぞれの能力と価値観を認め合い、支え合う企業風土を醸成
2. ワーク・ライフ・バランスの推進
育児、介護、地域活動など仕事以外の責任と要望を果たし得る労働条件を再整備
3. 「多様さ」の活用による競争力の向上
性別、年齢などに関わらず、誰もが能力を最大限発揮できる職場環境を整備し、競争力を向上

トーエネック
ダイバーシティ推進の
シンボルマーク



様々な色(多様性)をもつ、いきいきとした従業員(i)たちが輪になり、協力しあう姿を表しています。

Our action

平成27年度の取組み

ダイバーシティ推進の専任部署「いきいき人材活躍推進グループ」が平成27年7月に人事部内に新設されました。活動初年度となる平成27年度は、『多様な人材』の象徴である女性の活躍推進活動を中心に以下の取組みを実施しました。平成28年度以降は、仕事と介護の両立支援など活動の幅を広げていきます。

action 1 アンケート調査の実施

ダイバーシティに関する当社の現状を把握するため、「誰もが働きやすい職場づくりにつなげるためのアンケート」調査を実施しました。
アンケートはインターネットを利用し、無記名方式で実施しました。

action 2 聞き取り調査の実施

女性社員の働く立場や職場環境、意識差や問題点等を把握するため、聞き取り調査を実施しました。
仕事や家庭生活に変化があった女性社員および技術系・営業系の業務に従事する女性社員とその上司を対象に実施しました。

action 3 従業員への意識啓発

出産育児に関する両立支援制度をまとめたハンドブックと男性の育児休職の取得を促進するリーフレットを作成し社内HPへ掲載しています。



action 4 経営層への講演会・女性社員と管理職へ向けた研修会の実施

ダイバーシティ推進に関する重要性の再確認を目的に経営層に向けた講演会を実施しました。
また、女性社員の更なる活躍につなげるために各職場でリーダー的役割を担う女性社員とその上司(管理職)を対象に、研修会を実施しました。

Voice! 研修会受講者の声

- 本人のモチベーションの向上につながるよう、日頃からの会話を大切にしたいと思います。(管理職)
- ひとつ上のステップの仕事に挑戦する気持ちの大切さを再認識しました。明日から気持ちを新たに頑張りたいです。(女性社員)



経営層への講演会
平成28年2月8日



女性社員への研修会
平成28年2月23日

トエネックで活躍する 女性従業員

トエネックではさまざまな部門で女性が活躍しています。
当社でいきいきと働く女性従業員が語った仕事観についてまとめました。

「楽しく」働くか、「イヤイヤ」働くか、決めるのは自分自身。

私のこれまでの職業人生を振り返ってみると、育児、昇進、転勤、男性優位社会…これらが仕事を続ける上での「ハードル」であると感じることは幾度となくありました。そんな時は、自分の決断に責任を持つこと、自分が今できる最大限の努力をすること、周りへの気配り・感謝を忘れないことを大切にして乗り越えてきました。そしてその度に、仕事上のスキルのみでなく、信頼、達成感、やりがい、意識の変化などたくさんの大切なものを得ることができました。

私にとって、仕事とは人生そのものだと思っています。仕事を面白くないと思って日々過ごしたら、つまらない人生になってしまいます。だからまず、楽しい！と決めることです。どう生きるか、どう働くか…決めるのは自分！ですから…

女性だから期待されていない？それなら…その期待を大きく上回るチャンス！と捉えよう。私は、周りに起きるさまざまなことを「チャンスだ！」と捉え、多くの人の力を借りて、悩み苦しみながらも楽しんできたことが“私の強み”だと感じています。“楽しく働こう！”をモットーに、これからも胸を張って、上を向いて、大股で歩いていきたいと思っています。



長野支店 副支店長
月岡 清子

Profile

長野支店副部長、人事部課長、長野支店総務部副部長を経て、平成26年に長野支店副支店長に就任。現在は支店長補佐業務に加え、支店管内の風土改革にも取組む。一男一女の母。

秘書室 秘書グループ 副長
服部 涼子



仕事を進める上でコミュニケーションは不可欠。

常に笑顔での対応を

現在は、社長秘書を担当しています。また役付職として、業務が円滑に進むよう部下を指揮・指導していく立場でも感じています。

仕事を進める上では、コミュニケーションが必要不可欠であり、どんなことにも秘書全員が同様に対応できるよう情報共有を心掛けています。またお客さまに冷たい印象を持たれないよう常に笑顔で対応することも心掛けています。

家に帰れば二人の子どもの母親でもあります。子どもたちと一緒にいられる時間は少ないですが、その分、働く母親としての視点を活かし、世の中のこと、社会の一員として必要なことを伝えるようにしています。

message
~私の思い~

お客さまのおもい・感じておられることを察知し、これにお応えできるよう努力しています。また、笑顔を大切に「イキイキ ハキハキ キビキビ」とプラスαのおもてなしができるよう心掛けています。

教育センター 営業研修グループ
曾我 かおる



目の前で工事が進んでいく現場は楽しい。

いずれは現場復帰へ

現在は、社内の教育施設である教育センターで新入社員を対象にした電気主任技術者資格の取得に向けた研修やCADの研修の講師をしています。

子どもが生まれる直前まで、内線工事の現場管理をしていたこともあり、ときには現場で得た知識を交えながら教えています。

現場で施工管理をしていた頃は、分からないことも多く、つらいこともありましたが、職人さんとコミュニケーションを取ったり、工事が進んでいくのを目の前で確認できることが楽しかったです。

message
~私の思い~

育児が一段落すれば、いずれは“現場復帰!!”を目標に掲げています。現場から離れて約10年も経っており、体力も衰えています。それを補える何かを身に付けるため、日々努力していこうと思っています。

営業本部 空調管統括部 工事第一グループ
三津田 由衣



積極的に話しかけることで、

現場での信頼関係を築いていく

現在は、小学校の空調管工事の現場管理をしています。配属当時は、職人さんとの接し方に悩んだ時期もありましたが、自分から積極的に話しかけることで信頼関係を築いていきました。竣工後に「また一緒に仕事ができるといいね」と声をかけられたときはとても嬉しかったです。仕事のやりがいを感じる時は、図面だったものが実際に形として出来上がったときです。

今後、結婚・出産を経ても、現場に携われるよう頑張っていきたいです。

message
~私の思い~

現場管理の仕事は、自分が図面の段階から携わってきたことが最終的に形になり、とても達成感の得られる仕事です。大きなものを扱う分、責任のある仕事でも感じています。